うぐいすぐみだより（秋）

チャリティー第一保育園
令和7年12月発行

うぐいす組3期（9・10・11月）の目標
・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう
・友だちの良さに気付き一緒に活動する楽しさを味わいながら、決まりを守って遊ぶ
・絵本や物語に親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう

〇さつまいもほり〇

春にうえたさつまいもがこんなにも成長し収穫の時期を迎えました。

〇大きなかぶの劇の経験が〇

一人では全くびくともしないツルに「みんなで引っ張ったら抜けるかな」というお友だちの意見を聞き、皆で引っ張ることに挑戦！
自然と「うんとこしょ、どっこいしょ。まだまださつまいもは抜けません」とお話劇をアレンジしたかけ声が聞こえてきました。お友だちと力を合わせることを楽しみ、抜けたときにはみんなで喜びを共有していました。

〇さつまいも掘りの後日の発見！〇

さつまいも掘りが楽しかったのでしょう。後日、まだ出てくるかもしれないとスコップで掘り、探し続けていました。すると、小さい芋が出てきて、「あったー！」とまるで宝物が出てきたように喜んでいました。

〇ひらがなに興味が出てきたよ〇

絵本やひらがな表を見てひらがなの拾い読みをするようになってきました。絵本を見る時には、自分の名前と同じ文字を探す姿も。ひらがなが読めなくても想像力を膨らましお互いに読み聞かせをする姿も見られるようになっています。

秋ならではの遊びを楽しみました

〇枯れ葉遊び〇毎年恒例になっている枯葉を集めて上に飛ばす遊びから今回は触る、投げる、落ち葉の感触や音の違いを楽しむ他に枯れ葉のお風呂みたいと横になってみたり、両手いっぱい集めた枯れ葉を園庭に持って枝なども集めおままごと遊びになるなど遊びが変化していました。

『こうするともっとたくさん入れられるよ！』

先生が数字を数えその時間内でどれくらい集められるかという簡単なルールのゲームをしました。たくさんの葉っぱを持てるようになったので喜んで参加し、ゴミ袋6個分も集めることが出来ました。入らなくなったら足で枯葉を踏むともっと入ることに気付き実践していました。

『くっつく、くっつかない、なんでだろう？』

ジャンバーの素材によって枯葉がつくものとつかないものがあることを発見。つるつるよりふわふわの方がくっつくと気付きを持っていました。

魚に見える雲

クジラとぞうに見える雲

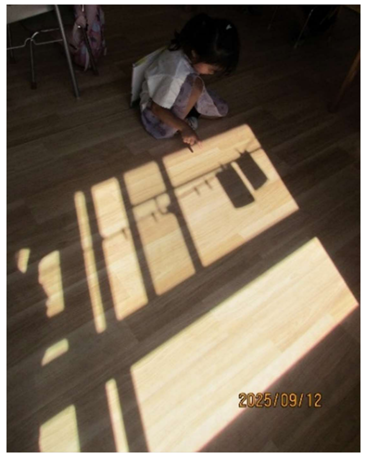
〇雲の形あて遊び〇

皆さんにはこの雲の形がどんなものにみえますか？
子どもたちによって見え方が違い、魚やクジラ、ゾウなどなど。お友だちの意見も聞き「ほんとだ。それにも見えるね」とやりとりし、雲の形で会話が増えていました。天気のいい日には空を見上げることが多くなった子どもたち。発見を楽しんでいます。

〇影遊びパート3〇

園庭でも影を発見するが何かがおかしいと気付いた子どもたち。前を見た時と後ろを見た時の影のある場所に疑問を感じていました。太陽の向きが違うのか？それとも遊ぶ場所？といろいろな場所に移動して影や光の仕組みや性質を知ろうとしていました。

わくわく保育での様子 “影”編



〇影遊びパート1〇

部屋の中で絵本を見ていると窓からさす光で絵本が光るように明るくなり、手を出してみると手の影が現れました。
絵本にも影ができるの！？と影に対しての興味が広がりました。
部屋が暗いと部屋の中での影もくっきりと現れて窓を見ながらどこの影なのか答え合わせしていました。

〇影遊びパート2〇

影を使った背比べから、いろんなポーズをとってみて影を観察する遊びに発展。
影を通して、想像力が育まれ、光と影のしくみへの興味や関心が深まりました。ここから影に対する探求心がさらに大きくなりましたよ。